

第2回 物理系薬学の教育と研究を展望するシンポジウム

場所： 日本薬学会 長井記念館 ホール

時間： 2009年1月7日(水) 13:00~17:00

会費： 2000円 (シンポジウム開催後の情報交換会代を含む)

※会費は当日徴収致します。

シンポジウム主題： 物理系薬学の教科(物理化学・分析化学・放射化学等)の講義や演習において、どのような問題点があり、どのように工夫をすればよいかについて、数人の講師の経験や工夫を話していただき、参加者との講師の議論を経て、参加者の教育活動の一助とする。

プログラム

1. 部会長挨拶 加茂直樹 (北海道大学)

2. 副読本の作成について

分析化学の副読本についての内容紹介 升島 努 (広島大学)

物理化学の副読本についての構想 小暮 健太郎 (京都薬科大学)

3. 講義・演習および実習についての経験

基礎化学(物理化学・分析化学)教育の切口について

宇野 文二 (岐阜薬大)

物理化学の講義における工夫

勝 孝 (岡山大学)

分析化学における演習の導入

安井 裕之 (京都薬科大学)

私立薬科大学の現状

伊藤 悦朗 (徳島文理大)

インターネットを使用した入学前教育と演習試験問題解説

黒澤 隆夫 (北海道医療大学)

アメリカから帰国して講義を行った感想

大江 知行 (東北大学)

どのような学生実習が必要か

秋澤 俊史 (摂南大学)

実習から見た問題点・工夫

児玉 頼光 (広島国際大学)

4. 総合討論

5. 情報交換会